NSB1510A（E1/A1206）

バッテリー噴霧機 取扱説明書

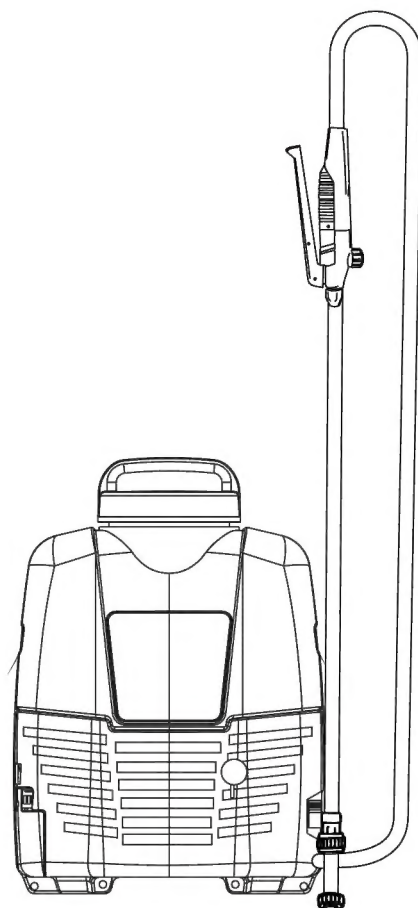
NSB1510A

お願い

◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

バッテリーは自己放電により容量が低下しています。最初は必ず充電してからご使用ください。
放電量が多い場合は、充電ランプが緑色になっても満充電にならないことがあります。

◎バッテリーが新品のとき、又は長時間使用しなかった時は、バッテリーの性能が不安定です。

満充電にして、バッテリーチェッカーの針が黄色の位置にくるまで本機で噴霧作業をしてください。
これを2～3回繰返すと自然回復します。

⚠注 意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

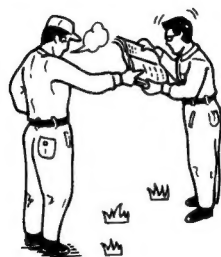
このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用の前によくお読みいただいて十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮できるようにこの冊子をご活用ください。
また、お読みになったあと必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などによりお買いあげの製品と本書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
本製品に関してお気付の点がございましたら、最寄りの取扱店又は当社の営業所にお問い合わせください。

使用目的

本製品は次の作業を目的とした製品です。
この使用目的を逸脱しての使用が原因での事故、許可なく改造、分解を行いそれに伴って生じた事故に関しては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1）一般畑作物の病害虫に対する薬剤散布。
2）果樹一般の病害虫に対する薬剤散布。
3）ハウス栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
4）花栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
5）牧舎・鶏舎などへの消毒液・殺虫液の散布。
6）庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬剤散布および散水。
7）都市衛生用消毒液・殺虫液の散布。
8）公園などの花壇・街路樹の病害虫に対する薬剤散布。
9）雑草防除に対する除草剤の散布。
10）野菜・根菜の洗浄および散水。

自分が使用するつもりで！

■注意事項について
この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠危険…もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるもの。
⚠警告…その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。
⚠注意…その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
注意…その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性があるもの。

■本製品を貸すとき、ひとに操作させるとき
事前に取り扱い方を教え、本製品に貼ってある⚠（安全注意マーク）印の付いている警告ラベルについても一枚ずつ説明してあげてください。
本製品と一緒に、この取扱説明書を渡し、よく読んで正しく安全に取り扱うように指導してください。
特に禁止事項については、念を入れて説明してください。
ご家族に操作を頼む場合も同様です。

目次

1. ⚠安全に作業するために

安全に作業するために

安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりです。これ以外にも、本文の中で ⚠危険　⚠警告　⚠注意　注意　としてその都度取り上げています。

こんな人は散布作業をしてはいけません

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により正常な作業ができない人。
- 酒気を帯びた人。
  妊娠している人。
- 負傷中の者・農薬による影響を受けやすい人。
- 若年者（15才未満の人）。
- 未熟練者。

作業に適した服装をします

身体にあったものを着用する散布作業者

⚠警告

- 保護具はつねに正常な機能を有する様に、点検・整備を行い、正しくご使用してください。

ご使用時の注意

⚠危険

・強酸性の薬品、引火性の高い溶剤（シンナー、塗料、ガソリン、灯油、ベンジン、アルコールなど）を噴霧しないでください。やけどや火災の可能性があります。

⚠警告

・ノズルを人や動物に向けないでください。薬剤がかかると薬害をおこす可能性があります。
・薬剤がはねたり、こぼれないようにしてください。人体にかかると薬害をおこす可能性があります。
・必ずポンプを停止してから、清掃作業を行ってください。ポンプが動いていると薬剤が出て、薬害をおこす可能性があります。
・ノズルをのぞきこまないでください。目や顔などに薬剤がかかり、薬害をおこす可能性があります。
・パッキンは傷や変形のないものを使ってください。異常なパッキンを使用すると薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
・パッキンのある部分の組み立ては、確実に締めてください。締め付けトルクが強すぎるとパッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
・改造しないでください。安全を損なう可能性があります。
・自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。転倒して薬剤が漏れると、薬害をおこす可能性があります。
・不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。整備不良のまま作業を続けると、薬害をおこしたり、けがや器具の損傷をおこす可能性があります。

⚠注意

・無理な姿勢で背負わないでください。けがの原因となります。
・足場を整えてから背負ってください。足場の悪いところで作業をすると、転倒の可能性があります。

注意

・倒したり、ぶつけたりしないでください。故障の原因となります。

ご使用後の注意

⚠警告

損傷個所がある場合は、修理してから保管してください。修理に使う部分や消耗品は、当社指定の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用すると、安全を損なう可能性があります。

薬剤について

⚠警告

- 使用する薬剤の取扱説明をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。散布量や薬剤の種類を間違えると、薬害をおこします。
- 使用する薬剤の説明書に従って、正しく調合してください。調合が不適切な場合、薬害をおこしたり、十分な効力が得られない可能性があります。
- 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは容器が破損しないように気をつけてください。薬剤が漏れ出すと薬害をおこします。
- 薬剤は、幼児の手の届かないカギのかかる専用の場所に保管してください。幼児が触ると、薬害の可能性があります。
- 回収した薬剤は、薬剤名を明記した容器に入れてください。容器の表示と中身が違っていると、誤用の可能性があります。
- 使用済みの薬剤の容器は、薬剤の取扱説明書または自治体の指示に従ってください。
- 薬剤の取り扱いに注意してください。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ハウス内で作業するときは、換気に注意してください。換気が不十分だと薬害をおこします。
- 頭痛やめまいを感じたり、気分が悪くなったときは、すぐに作業を中止して医師の診察を受けてください。
- 風向きを考慮して、周辺の他の作物や畜舎、養魚池、水源地、河川、湖沼、住宅、通行人に飛散させないように散布してください。
- 風上から風下に向かって作業してください。風下から作業すると作業者が薬剤を浴びて、薬害をおこします。

- 散布作業は朝夕の風のない涼しい時間帯に行ってください。気温の高い時間帯は散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤を散布した直後の場所へは入らないでください。散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- 作業中の喫煙・飲食は控えてください。タバコや手についた薬剤が口から入り薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤は飲み物や食べ物の容器には移し替えないでください。誤って飲み込むと薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤によって精密な計量が必要な場合には、使用する薬剤の説明書に従って指定された計量器を使い、あらかじめ薬剤を調合してから薬剤タンクに注入してください。調合が不適切な場合、薬害をおこしたり、十分な効力が得られない可能性があります。
- 作業後は使用した保護具を十分に清掃してください。
- 作業に使用した作業衣は他の洗濯物に薬剤が付かないよう分けて洗濯してください。

バッテリー（電池）の取り扱い

⚠危険

・バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察を受けてください。失明の可能性があります。
・充電には必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破裂する原因となります。
・次のことを守ってバッテリーをご使用ください。間違って使用すると、バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
○分解・改造しないでください。
○ハンダ付けしないでください。
○充電には、専用の充電器をご使用ください。
○火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
○＋端子と－端子を金属類で接続しないでください。
○指定された機器以外に接続しないでください。
○電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口などに直接接続しないでください。

⚠警告

・バッテリーを水や海水につけたり、濡らさないでください。バッテリーの発熱や、サビの原因となります。
・バッテリーの外装を傷つけたり、チューブをはがさないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす可能性があります。
・バッテリーは乳幼児の手の届かないところに保管してください。乳幼児がバッテリーに触ると、感電や皮膚障害の可能性があります。
・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。

注意

・バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。バッテリーの漏液や発熱、破裂の原因となります。
・40℃以上の高温で使用・保管しないでください。バッテリーの漏液、性能劣化、寿命低下の原因となります。

充電器の取り扱い

⚠危険

・充電には、必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破裂する原因となります。

⚠警告

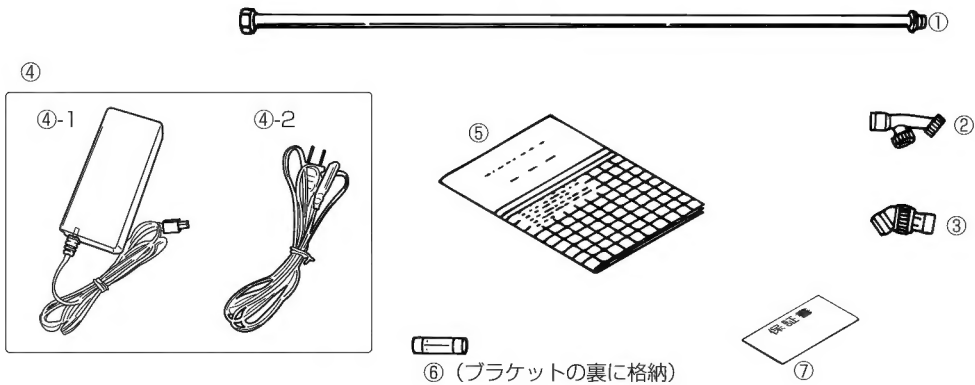
・必ず充電器をはずしてから、噴霧作業を行ってください。感電の可能性があります。
・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
・芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだら使用しないでください。火災、感電の原因となります。
・表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で充電しないでください。火災、感電の原因となります。
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
・コードの上に重いものをのせたり、本製品の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて火災、感電の原因となります。

2.1 標準付属品のご確認

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。

付属品

No.	名　称	個数
①	ノズルパイプ	1
②	二頭口ノズル	1
③	除草DLノズル	1
④	充電器マトメ	1
④-1	充電器	1
④-2	ACコード	1
⑤	取扱説明書	1
⑥	ヒューズ	1
⑦	保証書	1

付属品

ヒューズの交換はP24を参照

2.2 各部のなまえ

グリップ
P13参照

グリップレバー(スイッチ)
P12参照

薬剤タンクフタ

薬剤タンク

ネームラベル
機種名

ブラケット
P24参照

キャップ
P13参照

噴霧ホース

ノズルパイプ

調圧弁
P14参照

ドレンキャップ
ドレン口

ノズル
P10参照

背当て

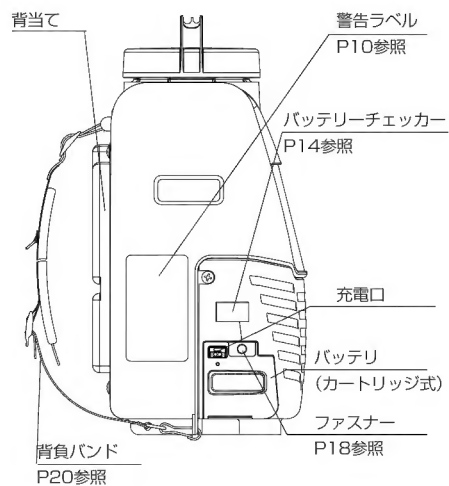
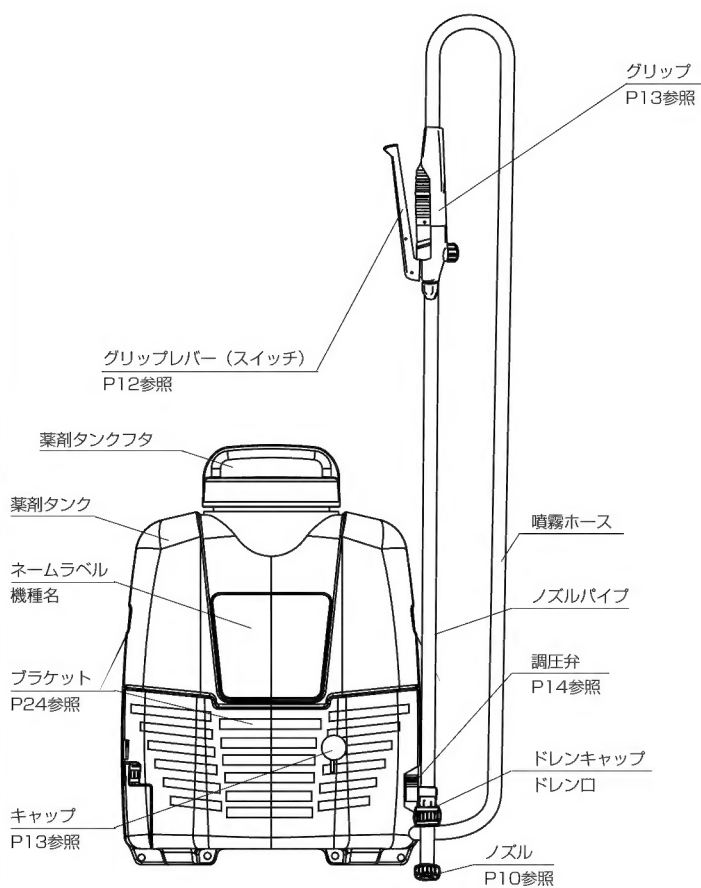
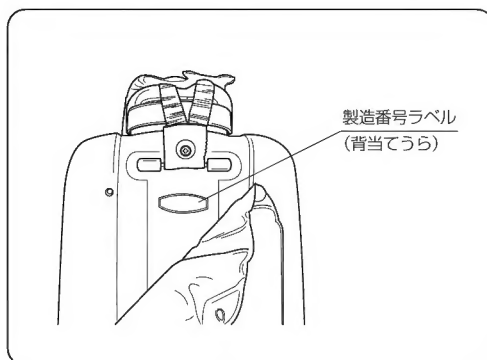
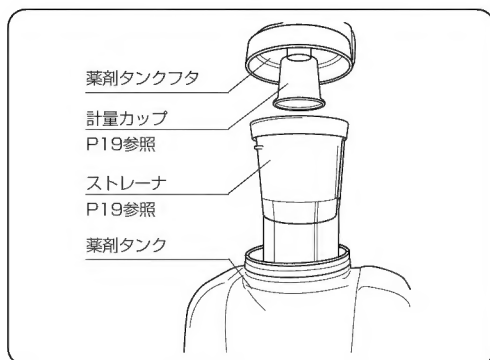
警告ラベル
P10参照

バッテリーチェッカー
P14参照

充電口

バッテリ
(カートリッジ式)

ファスナー
P18参照

背負バンド
P20参照

2.3 警告ラベル

⚠注意

- 警告ラベルは表示内容がいつもハッキリと見えるように清掃してください。清掃する際はシンナーやベンジンなどの有機溶剤はラベルをいためるので使用しないでください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しい物と交換してください。警告ラベルは、本製品をお買い求めの販売店で購入できます。
- 警告ラベルを貼ってある部品を交換したときは、警告ラベルも新しい物を用意して、所定の位置に貼ってください。

・本製品には、右図のような警告ラベルが貼ってあります。よく読んで正しくお使いください。

⚠危険	・バッテリー及び配線はショートさせないこと。引火、爆発するおそれがあります。 ・充電は必ず付属の専用充電器をご使用ください。バッテリが破裂する原因となります。
⚠注意	・運転前に、必ず、取扱説明書を読んで、よく理解してから運転してください。 ・フタは確実にしめること。薬剤が吹き出しあびるおそれがあります。
注意	・運転は必ず、タンクに水・薬液を入れて行ってください。ポンプが空運転になり、破損します。 ・購入後や長期保管後に使用するときは充電してください。 ・バッテリ残量計の針が赤色の位置にきたら必ず、充電してください。 ・充電するときは、必ず、本機のスイッチをOFFにしてください。 ・作業後必ず、清水でポンプの運転を行ってください。 ・長期保管の場合はタンク、ポンプ、ノズル内の水を完全に抜き、凍結のしない場所に保管してください。

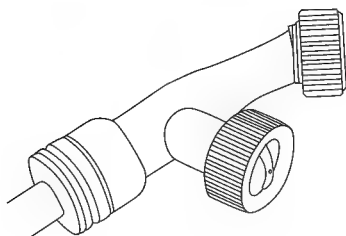
部品番号：124442

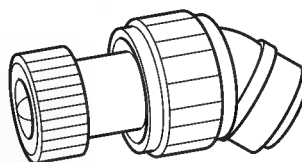
3.各装置の見かた・使いかた

3.1 ノズルの選択

本製品には、2種類のノズルが付属しています。作業に適したノズルを選んでください。

3.1.1 二頭口ノズル

広い範囲に細かい霧で散布するノズルです。害虫防除、散水などに向いています。

3.1.2 除草DLノズル

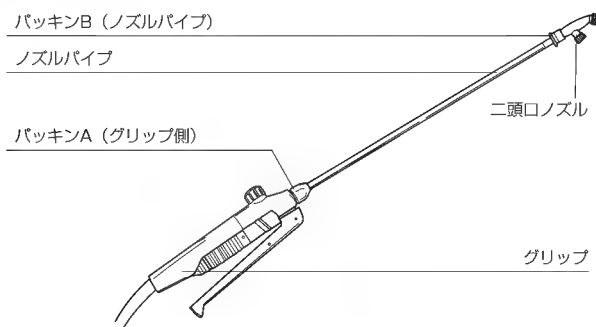
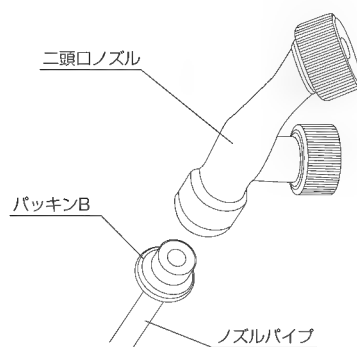
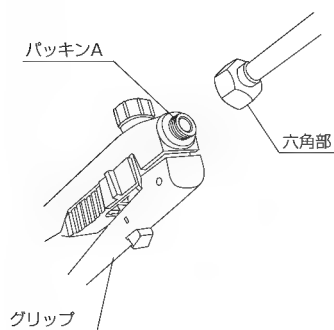
狭い範囲に比較的大粒の霧で散布するノズルです。除草剤など、周囲に飛び散るのを抑えたい作業に向いています。

3.2 ノズルの組み立て

警告

- パッキンは傷や変形のないものを使ってください。異常なパッキンを使用すると薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- 確実に締めてください。締め付けトルクが強すぎるとパッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。

注意

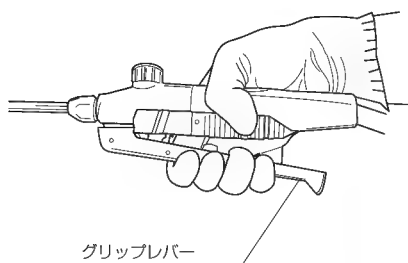
- グリップとノズルは必ず手で締め付けてください。プライヤーなどの工具で回すと、破損する可能性があります。
- ノズルパイプの六角部を、指定の工具ではさんで回してください。ノズルパイプを正しく保持しないと、破損する可能性があります。

二頭口ノズルの場合を例にして説明しています。

①グリップにパッキンAが正しく付いていることを確認します。
②グリップを手で持ち、17mmのスパナでノズルパイプを回して締めます。
③ノズルパイプのノズル側にパッキンBが正しく付いていることを確認します。
④ノズルパイプにノズルを手で回して締めます。確実に締め付けてください。

3.3 ノズルの取り外し

ノズルを取り外すときは、「ノズルの組み立て」の逆の順序で行ってください。

3.4 始動と停止

始動

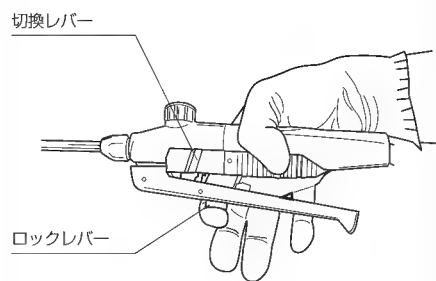
グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となって、散布作業が行えます。

停止

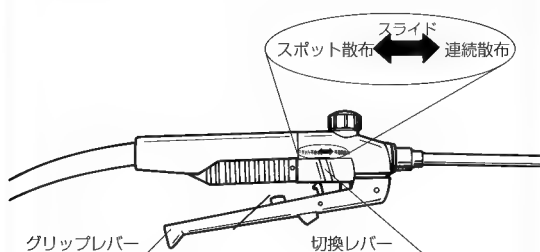
グリップの使いかた（P13）を参照してください。

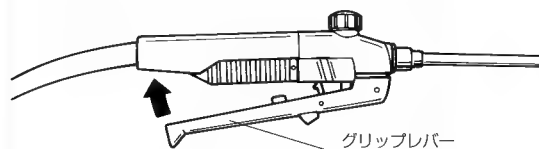
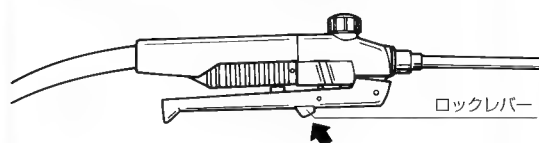
(1) 切換レバーがスポット散布のとき

握っていたグリップレバーを放すことで、スイッチOFF、バルブ閉となり、散布作業が停止します。

(2) 切換レバーが連続散布のとき

ロックレバーを押すとグリップレバーのロックが解除されグリップレバーが元の位置にもどり、スイッチOFF、バルブ閉となって、散布作業が停止します。

3.4.1 グリップの使いかた

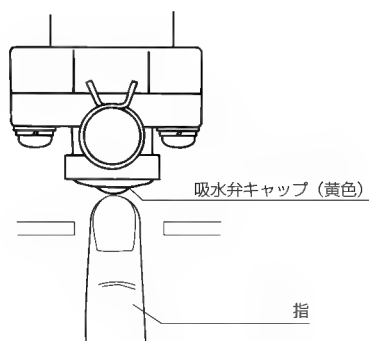
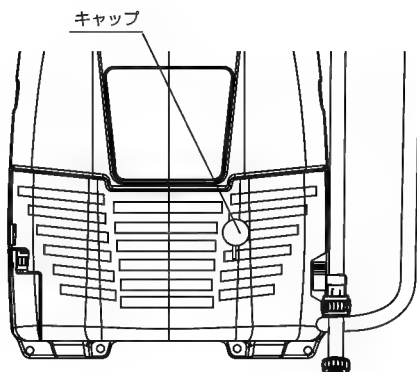
- グリップレバーを握るとスイッチON、バルブ開となり散布作業ができます。
- グリップレバーを放すとスイッチOFF、バルブ閉となり散布作業が停止できます。
- 切換レバーをスライドさせることにより連続散布とスポット散布の選択ができます。

（1）切換レバーがスポット散布位置のとき、
- グリップを握ると散布作業ができます。
- グリップを放すと散布作業が停止できます。

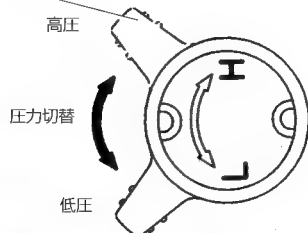
（2）切換レバーが連続散布位置のとき、
- グリップレバーを握るとグリップレバーが固定され、連続した散布作業ができます。

- ロックレバーを押すとグリップレバーの固定が解除され、散布作業が停止できます。

3.4.2 吸水弁が固着したとき

長期保管すると、ポンプの吸水弁が固着して、ポンプが吸水しなくなることがあります。その場合は、指で吸水弁キャップを1～2度押してください。

吸水弁キャップは、ブラケットのキャップを外した中にあります。

注意

・**強く押す必要はありません。吸水弁キャップ（黄色）は必ず指で押してください。先のとがった棒等で押した場合、破損の原因になります。**

3.4.3 調圧弁の切替

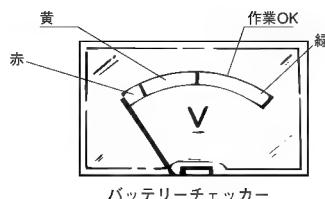
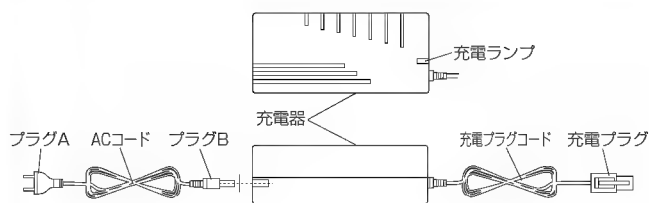
※工場出荷時には低圧に設定されています。

1.調圧弁ハンドルを低圧側に設定し、圧力を下げます。
除草作業に適した圧力になります。
2.調圧弁ハンドルを高圧側に設定し、圧力を上げます。
噴霧（防除）作業に適した圧力になります。

3.5 バッテリーチェッカーの見かた

注意

・必ず薬剤タンクに水を入れてから、点検してください。ポンプが空運転となり、故障の原因となります。

緑	作業できます。
黄	充電してください。
赤	作業を中断し、充電してください。

バッテリーチェッカー

3.6 充電ランプの見かた

黄色	充電準備
赤色	充電中
緑色	充電完了

ー何か異常があった場合ー

・充電ランプが黄色のままの時はバッテリーまたは配線に異常があります。
・充電ランプがつかない時は充電器に異常があります。
P23の「6.故障と対策」を見て対応してください。

3.7 始業点検

⚠警告

不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。整備不良のまま作業を続けると、薬害をおこしたり、けがや、器具の損傷をおこす可能性があります。

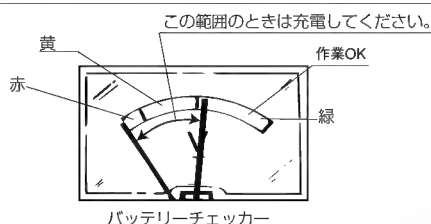
本製品を運転する前に、必ず次のことを確認・調整してください。特にバッテリーの充電には時間がかかるので、作業前日に確かめてください。

- 各部のネジが確実に締まっていること、ホースやタンクに亀裂がないか、パッキンの脱落がないことを確認します。
- 警告ラベルが正しく貼り付けられているか点検します。
- 作業前日にバッテリー容量を確認して、不足しているときは充電します。
- 背負バンドに損傷（切れやホツレ）がないか点検をします。損傷があった場合、使用せずに背負バンドを交換してください。

3.7.1 バッテリー残量の確認

注意

- **必ず薬剤タンク内にきれいな水を入れてから、点検してください。水が入っていないとポンプが空運転となり故障の原因になります。**
- **赤ゾーンでの運転はバッテリーの寿命を短くします。**

1.本機のキャップを外し吸水弁キャップを指で軽く押します。（「3.4.2 吸水弁が固着したとき」P13参照。）
2.薬剤タンクにきれいな水を約1ℓ入れます。
3.グリップレバーを握ってONにし、ノズルから霧を噴出させてバッテリーチェッカーの目盛りを確認します。
4.本機や配管部からの水漏れが無いことを確認してください。

バッテリーチェッカー

バッテリーチェッカーの指示が緑色の範囲内であっても、黄色に近い場合は運転できる時間が短いので、充電してください。

3.8 充電のしかた

⚠警告

- **屋内の乾燥した場所で充電してください。水気があると、ショートや感電の可能性があります。**
- **直射日光の当たらない、風通しの良い場所で充電してください。温度が上がると、バッテリーが破裂する可能性があります。**
- **必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。**
- **充電には必ず標準付属の専用充電器をご使用ください。他の充電器を使うと火災の可能性があります。**

注意

- 本機の充電は屋内で行うことを基本としています。直射日光が当たる場所で充電はしないでください。故障の原因となります。
- 充電は周囲温度0〜40℃の範囲内で行ってください。範囲外での充電は故障の原因となります。
- 充電器をつないだままで長時間放置しないでください。過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。
- 充電器をつないだ状態で本製品を運転しないでください。充電器故障の原因となります。
- バッテリーの充電をしないときは、充電器を電源コンセントから外してください。

◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

バッテリーは自己放電により容量が低下しています。最初は必ず充電してからご使用ください。初めて使用するときや、長時間使用しなかったときは、充電時間内で満充電にならないことがあります。2〜3回使用している間に本来の能力が発揮されるようになります。

充電回数が多くなったり、年月が経過しますと、1回の充電で使用できる時間が短くなってきます。満充電しても散布作業時間が半減したときはバッテリー寿命です。新しいバッテリーと交換してください。通常の使い方で約300回の使用が可能です。

3.8.1 噴霧機本体で充電する場合

①充電器の充電プラグを噴霧機本体の充電口にロックするまで差し込んでください。

②プラグBを充電器に差し込み、プラグAを家庭用（AC100V）コンセントに差し込んでください。

③充電器の充電ランプの黄色が点灯し、赤色に変わって自動的に充電が開始します。

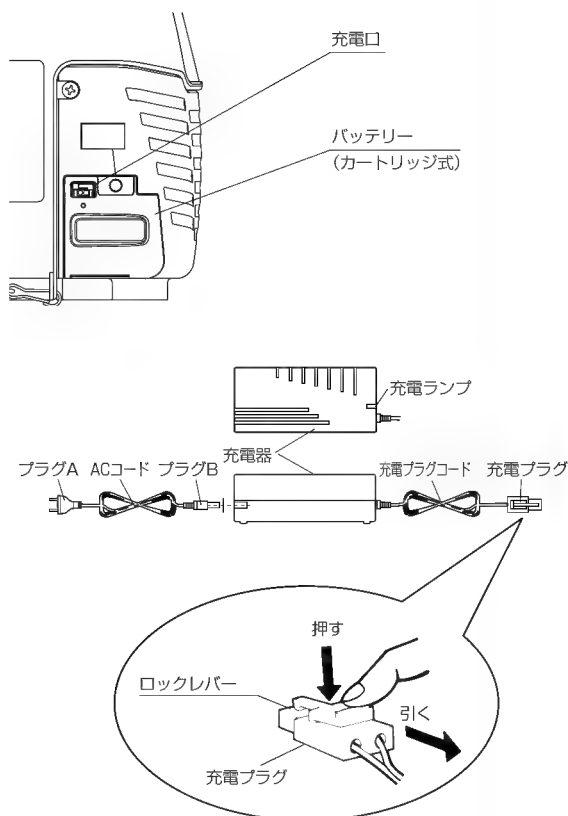
④充電ランプが緑色になれば充電完了となります。

充電時間は、電池の容量により異なります。

（電池5000mAh）約150分

（電池2500mAh）約75分

⑤プラグAを家庭用電源のAC100Vコンセントから抜いてください。

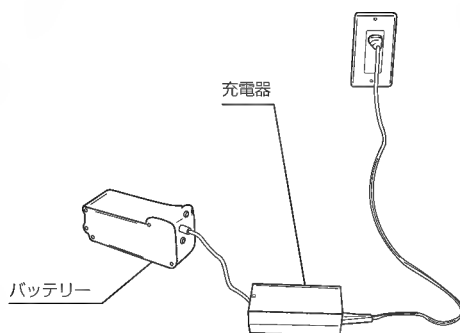
⑥次に充電プラグを、ロックレバーをつまみながら噴霧機本体の充電口から抜いてください。

3.8.2 バッテリー単体で充電する場合

⚠注意

・バッテリーのネジを外したり、分解は絶対しないでください。

注意

・バッテリーの＋端子と－端子を金属類で接触しないでください。バッテリーが使用できなくなります。ショートを防ぐために、端子部にテープを貼ってから充電してください。
・充電器をつないだままで長時間放置しないでください。過充電となり、バッテリーの寿命を縮めます。

バッテリーの交換方法については「3.8.3 バッテリーの交換」（P17）を参照してください。
充電方法は、「3.8.1 噴霧機本体で充電する場合」（P16）を参照してください。

3.8.3 バッテリーの交換

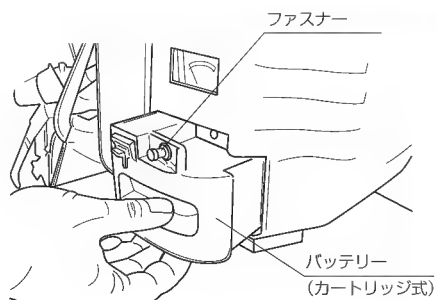
⚠警告

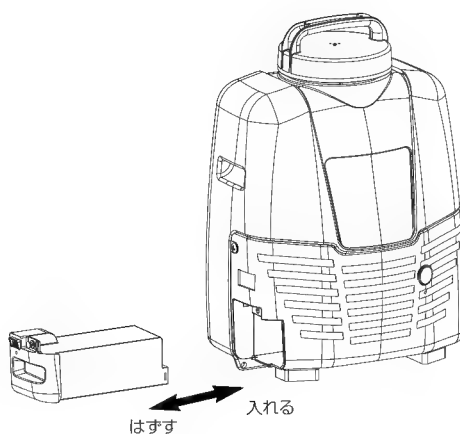
・必ず充電器をはずしてから、作業してください。感電の可能性があります。
・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
・修理に使う部品や消耗品は、当社指定の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用すると、安全を損なう可能性があります。

注意

・バッテリーの＋端子と－端子を金属類で接触しないでください。バッテリーが使用できなくなります。ショートを防ぐために、端子部にテープを貼ってから充電してください。

[バッテリー(カートリッジ式)の外しかた]

①バッテリー（カートリッジ式）のファスナーを「カチッ」と音がするまで引きます。
②バッテリー（カートリッジ式）を引き抜いて取り出します。

[バッテリー(カートリッジ式)の取り付けかた]

①バッテリー（カートリッジ式）を元のように本体に奥まで差し込みます。
②ファスナーを「カチッ」と音がするまで押し込みバッテリー（カートリッジ式）が外れないことを確認します。

3.9 薬剤の調合

⚠警告

- 保護具を着用して作業に適した服装をして行ってください。
- 使用する薬剤の取扱説明書をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。散布量や薬剤の種類を間違えると、薬害をおこします。
- 薬剤によって精密な計量が必要な場合には、使用する薬剤の説明書に従って指定された計量器を使い、あらかじめ薬剤を調合してから薬剤タンクに注入してください。調合が不適切な場合、薬害をおこしたり、じゅうぶんな効力が得られない可能性があります。
- 散布計画をたて、薬剤が余らないように調合してください。

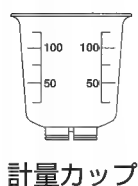
注意

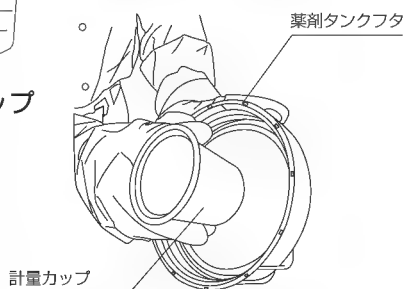
- 使用する薬剤の取扱説明書に書いてある希釈倍率を守ってください。濃すぎるとポンプの寿命が短くなります。
- 希釈する水は水道水をご使用ください。砂等の固形物が混じりますとポンプが損傷します。充分ご注意ください。
- ショートやサビの原因となるので、水や薬剤をパネル部分にこぼさないでください。

3.9.1 計量カップを使って調合するとき（液剤）

注意

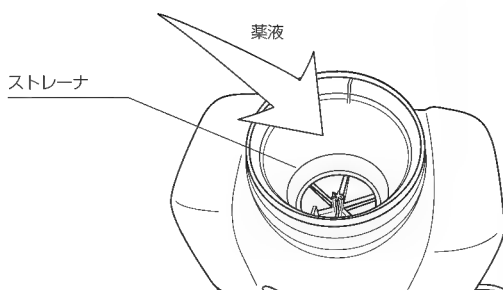
- 必ず薬剤はストレーナを通して注入してください。異物が入ると故障の原因となります。
- 薬剤をこぼしたり、あふれさせないでください。薬剤がパネル内部に入ると、ショートやサビの原因となります。

薬剤タンクフタの裏の計量カップを使用すると便利です。（計量カップは薬剤タンクフタから脱着できます。）

計量カップ

①計量カップを薬剤タンクフタから外します。

②計量カップに薬剤を入れ、薬剤タンク内に入れます。

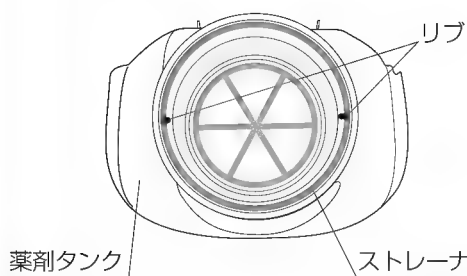
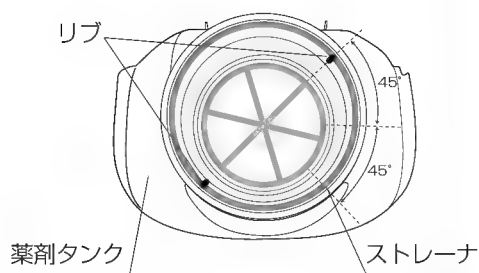
③使用後は、計量カップを薬剤タンクフタの元の位置にハメ込みます。

希釈倍率と薬剤量の換算表

倍率 ＼ タンク内水量	15L	10L	5L
50倍	300（mℓ）	200（mℓ）	100（mℓ）
100倍	150	100	50
150倍	100	67	33
200倍	75	50	25
500倍	30	20	10
1000倍	15	10	5

3.9.2 液剤以外を使用するとき

注意

・必ず薬剤はストレーナを通して注入してください。異物が入ると故障の原因となります。
・薬剤をこぼしたり、あふれさせないでください。薬剤がパネル内部に入ると、ショートやサビの原因となります。
・水和剤などを使用する場合は、あらかじめバケツなどの容器に決められた倍率に調合して、よく溶かしてください。固形物でポンプが損傷することがあります。また、濃い水和剤もポンプの摩耗を早めます。

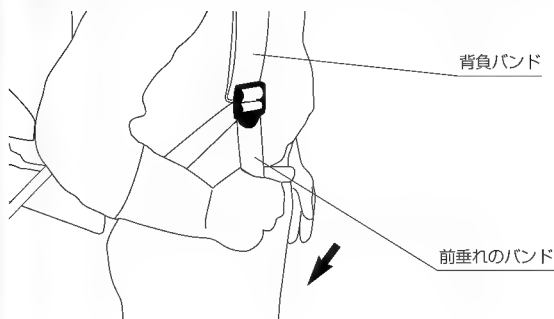
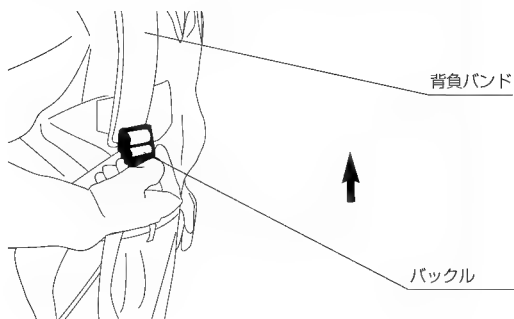
3.9.3 ストレーナの脱着のしかた

ストレーナの内側の両サイドのリブを薬剤タンクと水平若しくは垂直にすると、ストレーナの脱着ができます。

ストレーナの内側の両サイドのリブを水平若しくは垂直の状態で薬剤タンクに設置し、その位置から45°回転させると、ストレーナを薬剤タンクに半固定できます。発泡系の薬剤使用のとき、ストレーナの浮き上がりを防止することができます。

3.10 背負バンドの調整

噴霧作業を始める前に、身体に合わせて適切な長さに調整してください。

⚠注意

・無理な姿勢で背負わないでください。けがの原因となります。
・足場を整えてから背負ってください。足場の悪いところで作業をすると、転倒の可能性があります。

[背負バンドを短くするとき]
前垂れのバンドに沿って下方へ引き下げます。

[背負バンドを長くするとき]
バックルをゆっくり上方へ傾けます。

4.散布作業

⚠警告

作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。身体に薬剤が付着していると、薬害をおこす可能性があります。

注意

- ノズルから霧が出なくなりましたら停止してください。
- ポンプの噴霧圧力が下がってきたら、充電してください。バッテリーの電圧が低いところで使用しますと、バッテリーの寿命が短くなります。

5.保守点検

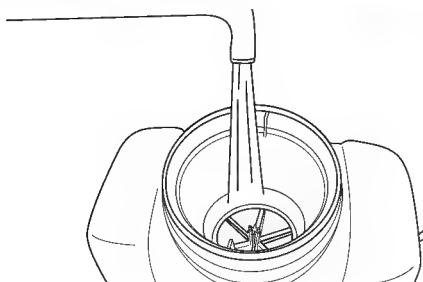
5.1 作業後の清掃

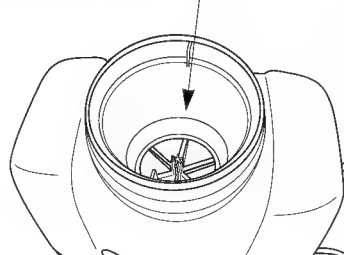
散布作業終了後は、すぐに清掃してから保管してください。

注意

- 清掃、点検および充電の時は必ず本機を停止してください。
- 本機のバッテリー（カートリッジ式）部分に水がかからないように充分注意ください。水が入ると、ショートやサビの原因になります。
- 清掃後は本製品の内部に水分を残さないでください。冬季凍結により、ポンプを破損することがあります。
- 付着した薬剤はきれいに取り去ってください。薬剤が付着していると、サビの発生や故障の原因になります。
- 本製品の内部に残った薬剤は回収し、内部に付着した薬剤は洗い流してください。薬剤が残っていたり付着したまま保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって薬害を起こす可能性があります。また、ポンプ、ホース、グリップを損傷する可能性もあります。

薬剤タンク内の清掃

清水で薬剤タンク内を清掃します。

ストレーナの清掃

ストレーナの清掃します。

ポンプ内の水洗い

薬剤タンク内清掃後、再び清水を3L程度入れ、ポンプを運転して、ノズルからの噴霧が無くなるまでポンプやホース内及びノズルの洗浄をします。ポンプ内の水洗いをしない場合、ポンプやノズルの故障の原因となることがあります。

また、1分間以上の空運転はしないでください。ポンプ破損の原因となります。

外観の清掃

本機の外観は固く絞った専用の濡れぞうきん（お客様でご用意ください）で拭いてください。

背負バンドの点検整備

⚠注意

背負バンドは本製品（薬剤を入れると重量物となります。）を背負うための部品です。
背負バンドが損傷すると本製品の落下となり、けがを負う可能性があります。

背負バンドが汚れているときは水洗いしてください。水洗い後、よく乾燥させます。

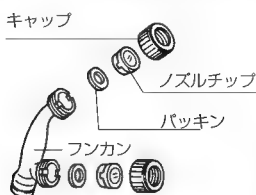
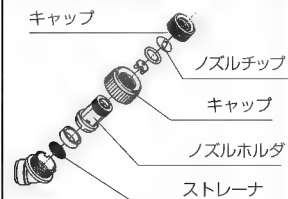
乾燥後、損傷（切れやホツレ）がないか点検し、損傷している場合は背負バンドを交換してください。

交換部品については、本製品のお買い上げの販売店でお買い求めください。

ノズルの清掃

注意

ノズルの分解・組立の際は、部品を無くさないでください。

ノズルがつまった場合は、ノズルのキャップのネジを緩めて、ノズルチップ、ストレーナ、ノズルホルダーを取り外し、清掃します。

【二頭口ノズル】

【除草DLノズル】

5.2 保　　管

注意

- **バッテリーは満充電にしてから保管してください。満充電にしないまま長期間保管されますと、電池の性能を低下させる原因となります。**
- **保管するときは、日光の当たらない乾燥した涼しい場所を選んでください。高温多湿の場所や、直射日光は、バッテリーの寿命を短くします。**
- **バンドや樹脂部は紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光があたる場所には保管しないでください。**

薬剤タンク内が乾いてから保管します。次のような場所での保管はしないでください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 高温または低温のところ
- 油煙や湯気のあたるところ
- 薬品や肥料が保管してあるところ
- 直射日光のあたるところ
- 振動の激しいところ

6.故障と対策

故障と対策

噴霧に異常があるときは、次の内容が考えられます。
☆印については販売店、または弊社営業所に調整、修理を依頼してください。

噴霧が正常でない

現象		原因	処置	
モータが回らない場合		コネクタの外れ	正しく接続	
		スイッチの不良	交換	☆
		配線の断線	交換又は修正	☆
		ヒューズ切れ	ヒューズ切れの原因を除いてから交換してください。	
		モータ断線	交換	☆
		モータ焼損	交換	☆
		バッテリの電圧低下	充電、交換	
		ポンプに異物のカミ込み	ポンプ交換	☆
		ピストンパッキン固着	交換	☆
モータは回るが	噴霧しない	ノズルのつまり	清掃	
		ポンプの摩耗	ポンプ交換	☆
		吸水弁の固着	キャップ(黄色)の操作又は清掃	
		ポンプ弁のつまり	清掃	☆
		吸水ストレーナのつまり	清掃	
	圧力が上がらない	ポンプの摩耗	交換	☆
		ポンプ弁のつまり	清掃	☆
		調圧弁のつまり	清掃	☆
		調圧弁の摩耗	交換	☆
		ノズルチップの摩耗	交換	☆
		吸水ホースのつまり、又はつぶれ	清掃又は修正	☆
		バッテリの電圧低下	充電	

充電不具合

現象	原因	処置	
充電しない	バッテリの異常	交換	☆
	充電器ランプが黄色のまま変わらない		☆
	(バッテリー、配線の異常)	交換	☆
	充電器ランプが点灯しない	交換	☆
	コネクタの接続不良	正しく接続	
	配線の断線	交換又は修正	☆
容量が回復しない	充電時間の不足	充電	
	バッテリの異常	交換	☆
	充電器の異常	交換	☆

ヒューズ切れ

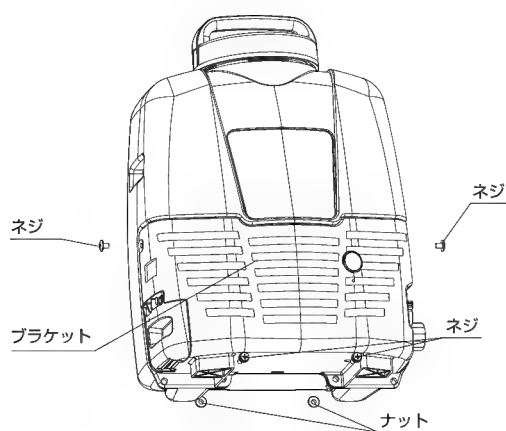
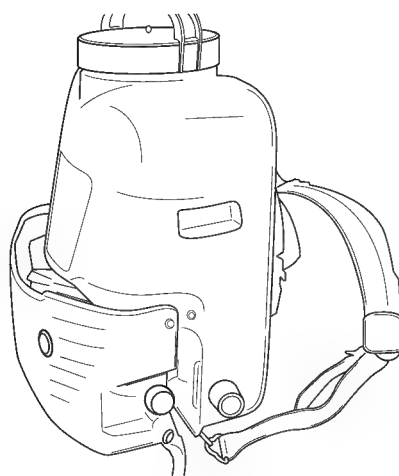
現象	原因	処置	
ポンプが回転しない	異物のカミ込み	ポンプ交換	☆
	ピストンパッキンの固着	交換	☆
	スイッチの不良	スイッチ交換	☆
	充電中にスイッチをONにした	正しい操作	

6.1 ヒューズの交換のしかた

6.1.1 ブラケットの外しかた

注意

ブラケットを外す際は、内部に水が入らないように気をつけてください。水が入るとショート(断線)やサビの原因となります。

1. ブラケット左右のネジ2個、ブラケット下のネジ2個を外します。

2. ブラケットを落とさないようしっかり持ち、ゆっくり取り外します。

6.1.2 ヒューズの交換

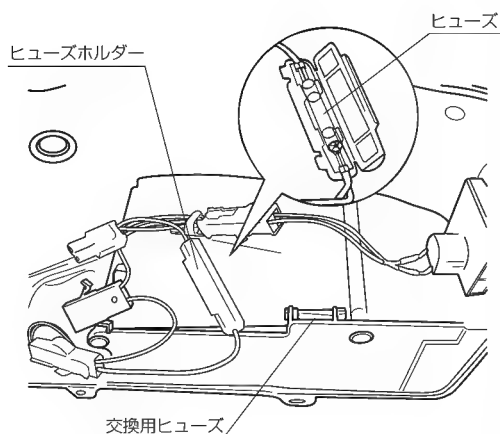
警告

・修理に使う部品や消耗品は、当社指定の純正部品をご使用下さい。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。

注意

・必ず充電器とバッテリーをはずしてから、作業してください。感電の可能性があります。
・必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。

1. 充電器が、接続されていないことを確認します。
2. ブラケットを外します。
「ブラケットの外し方」(P24) を参照してください。
3. バッテリーを外します。
「バッテリーの交換」(P17) を参照してください。
4. ヒューズホルダーを開けます。

5. リード線を持ち上げて、ヒューズホルダーからヒューズをはずします。
6. 新しいヒューズに交換します。
交換用ヒューズは、ブラケットに付いています。
7. ヒューズを、元のようにヒューズホルダーに入れます。
8. ヒューズホルダーを、元のように閉めます。
9. バッテリーを接続します。
10. ブラケットを元のように取り付けます。
11. 左右のネジ2個、ブラケット下の2個のネジをしっかりと締めます。

保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。
保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。
お読みになられた後は大切に保管して下さい。

アフターサービスについて

始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 連絡していただく内容
  ○機種名
  ○製造番号（本体の製造番号ラベルに記載されています。「2.2 各部のなまえ」参照）
  ○故障内容（なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話ください。）
- 本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、本製品の製造を打ちきり後8年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

機体廃棄時のお願い

本機を廃棄する場合は、最寄りの取扱店又は当社の営業所にお問い合わせください。

バッテリ廃棄時のお願い

使用済みのバッテリはそのまま廃棄せず販売店にご相談ください。

消耗品一覧

⚠警告

・修理に使う消耗品は、当社指定の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用すると、安全を損なう可能性があります。

● 部品購入の際は、本製品をお買い求めになった販売店にご用命ください。

使用箇所	名　称	部品番号
バッテリー（カートリッジ式）	バッテリクミタテ	126340
ヒューズホルダー	ヒューズ	115385
ブラケット（吸水弁キャップ部）	キャップ	126247
ポンプ　シールセット	シールセット	641930
ポンプ	シールパッキンオサエ	123256
ポンプ　Aブロック	ピストンパッキンマトメ	121434
ポンプ　Bブロック	Bブロッククミタテ	599680
調圧弁ハンドル	Oリング	014180
グリップ	Oリング	124612
グリップ	Oリング	014194
ノズルパイプ	ノズルパイプ	122933
二頭口ノズル	二頭口ノズル	117958
除草DLノズル	除草DLノズル	114292
薬剤タンクフタ	薬剤タンクフタ	125876
薬剤タンク内	ストレーナ	125878
背負バンド	背負バンド	126308
背当て	背当て	126307
充電器	充電器マトメ	126013
充電器	充電器	126333
充電器	ACコード	126331
バッテリーチェッカー	バッテリーチェッカー	124328
ブラケット内	ハーネス	126010
吸水弁キャップ（黄色）	キャップマトメ	116128

オプション（別売）

本機には付属しておりません。ご希望によりご購入いただけます。

使　用　箇　所	名　称	部品番号	備　考
ノズルパイプ	ノズルパイプ	124040	長さ680mm

主要諸元

	NSB1510A
寸法（長×縦×高）	250×370×480mm
乾燥質量	5.3kg
薬剤タンク容量	15L
ポンプ	ユニフローポンプ（差動式）
圧力	1.0MPa（10.0kgf/cm2）
吸水量	1.5L/min
モーター	DCモーター
ヒューズ	φ6-L30　10A
バッテリー	12V　5.0Ah　ニカド
連続散布作業時間（※）	1.5h（高圧時）、2h（低圧時）
充電時間	約150分
充電器	スイッチング電源式

この仕様は予告なく変更することがあります。

※連続散布作業時間は吐出圧が初期値から50%低下するまでの連続運転をした場合の値です。
連続散布作業時間、充電時間はニカドバッテリー使用時の当社値であり、保証値ではありません。
使用環境により、その値は変化します。

付属品一覧

No	名称	個数	部品番号
			NSB1510A
①	ノズルパイプ	1	122933
②	二頭口ノズル	1	117958
③	除草DLノズル	1	114292
④	充電器マトメ	1	126013
④-1	充電器	1	126333
④-2	ACコード	1	126331
⑤	取扱説明書	1	
⑥	ヒューズ	1	115385
⑦	保証書	1	

※消耗品や修理等サービス、部品や製品の価格のお問合せはお買上げの販売店にお問合せください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)
http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社
本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9

(平成24年6月現在)
NSB1510A (E1/A1206) PRINTED IN JAPAN